

公共交通のこと
考えてみませんか？

ぎふがわ

木津川市内公共交通を再編中

vol.

2

発行日
平成20年
10月1日



公共交通だより

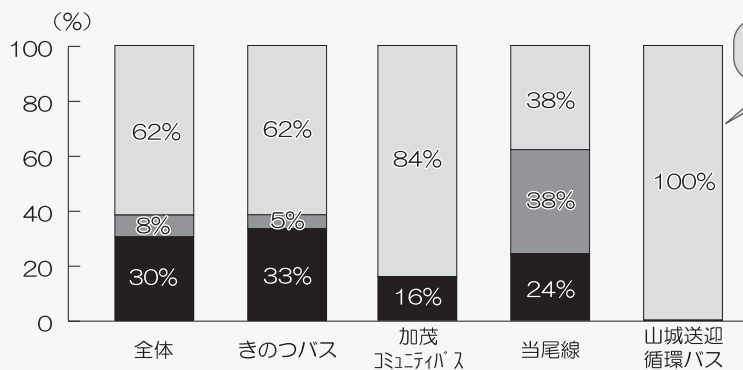
木津川市では、皆様にとって使いやすく満足度の高い公共交通となるよう取り組んでいます。先月号では、市におけるコミュニティバスの利用状況と加茂・山城地域の課題と解決策について紹介しました。今月号では、「バスの収支および料金」と「クルマ利用と健康・環境問題」について紹介します。

市が走らせているバスのお金について

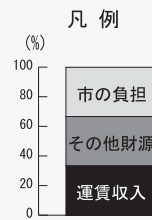


収入の3割が運賃収入です

バスを便利にするためには、運賃収入が必要です。



料金が無料のため
運賃収入はありません



参考. バスの料金

名称	料金
きのつバス	100円
加茂コミュニティバス	200円
当尾線	対距離料金
山城送迎循環バス	無料

	全体	きのつバス	加茂コミュニティバス	当尾線	山城送迎循環バス
総費用	11,818万円	9,480万円	763万円	1,226万円	350万円
市の負担額	7,290万円	5,835万円	641万円	463万円	350万円

図. バス運行にかかる経費の財源構成

市内のバス運賃の適正化を検討しています

現在の市が走らせているバス運賃は、上の表のとおり、バスにより運賃が異なっています。

しかし合併時に決めた合併協定項目では、「新市において運用の統一化を検討する」とされています。現在、協議会において、サービス向上に向けたバス運行のあり方や運賃などの検討を進めています。

このうち、サービス向上に向けたバス運行のあり方については、現行の路線を検証するなかで、運行回数の増加や鉄道との乗り継ぎに配慮するなど、**乗りやすく便利なバスを目指しています。**

また、市域全体で統一されていない**運賃については**、運賃収入の確保が地域にとって持続可能なバスの運行につながることから、**一乗車200円とする案**が協議会で出されました。

運賃を200円にすることにより、現行よりも負担が大きくなる地域もあることから、**利便性を高める**とともに、**運賃負担を軽減するための乗継券の発行など**、他都市の先進事例も参考にしながら引き続き検討を進めています。

クルマ利用について考えてみませんか？

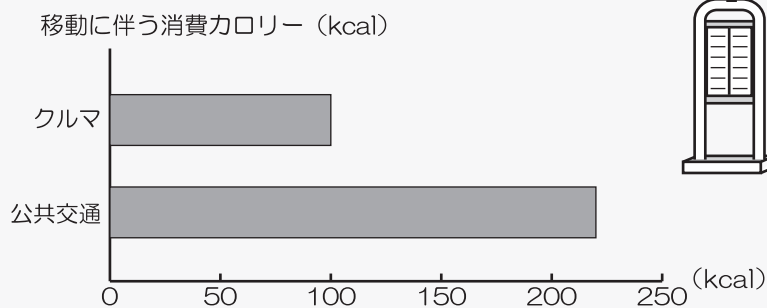


移動手段として、「クルマ」はとても便利で、快適な乗り物です。しかし、「クルマ」を使うことによって、「渋滞時のストレス」や「運動不足」が気になったことはありませんか？ また、環境への影響についてご存じですか？
そこで今回は、「クルマ利用と健康」、「クルマ利用と環境問題」について考えてみましょう。

クルマ利用と健康について

クルマではずっと座っていられます。
だからこそ、便利ですが、だからこそ、運動不足になるかもしれません。

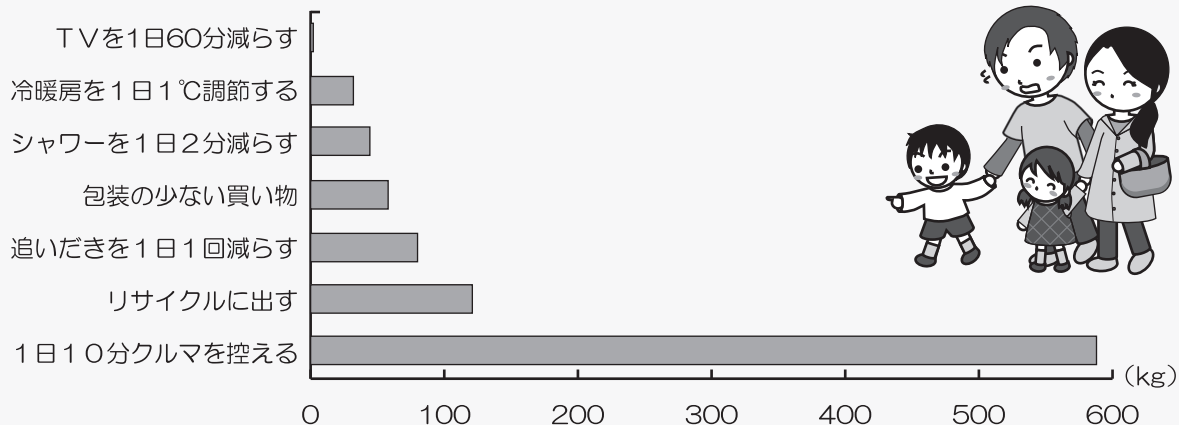
◇例えば、1時間クルマで移動する代わりにバス・鉄道を使えば、
それだけで下の図のように消費カロリーは**2倍**以上になります。



詳細は <http://www.plan.cv.titech.ac.jp/fujiilab/info/> をご覧下さい。「出典：第6次改訂日本人の栄養所要量」

クルマ利用と環境問題について

ちょっとクルマを使うだけで、あなたが排出するCO₂(二酸化炭素・地球温暖化ガス)は、下の図のように何倍にもなってしまいます。



詳細は <http://www.plan.cv.titech.ac.jp/fujiilab/syohi/> をご覧下さい。「出典：東京工業大学大学院・土木工学専攻・藤井研究室」

■社会実験に向け準備中(山城地域・加茂地域)

現在、山城地域および当尾線については、11月から予定している社会実験に向けて準備を進めています。今までバス停留所を示す標柱がなかった山城地域では、新たに標柱を設置するため、標柱設置のお願いに伺うことがあります。コミュニティバスの運行に向け、ご協力をお願いします。
また、加茂コミュニティバスについても、社会実験の検討を進めています。

次号は11月号広報に折り込む予定です。

発行：木津川市地域公共交通総合連携協議会
事務局：木津川市学研企画課企画政策係

〒619-0286 京都府木津川市木津南垣外110-9
電話番号：0774-75-1201 (直通)
e-mail：kikaku@city.kizugawa.lg.jp